

2024年7月1日 社会福祉法人大阪水上隣保館 山崎保育園

お昼寝前のひと時、静かな幼児ホーム前の廊下。長椅子に5人のゆり組さん(年長児)、そこに女性保育士が ひざを折り曲げ対面しています。どうやらお友だちへの嫌がらせの度が過ぎたよう。「何で呼ばれたか分かる かな?」穏やかなトーンで始まります。もちろん身に覚えあり、即涙がこぼれる子も。『○○したから』それ ぞれ答えは正解です。「何でそんなことしたのかな?」一人ずつ答えていきます、①友だちがやっていたから ②前にやられたから③今日はやっていない④○○ちゃんもやっていた⑤「(職員)前に話した心と身体の大切 さの話なんだけど、覚えてる?」 覚えてない(覚えてました)。 それぞれが自分の側からの事情を話します。 "叱 られたくない"気持ちも混ざり、まずは子どもらしくも"隠す、逸らす、矮小化する"等とはなりますが、あ くまでも子どもの言葉を聞いていきます。以降も職員との対話を通して、その時の自分の気持ち、相手の気持 ち等を考え、話してもらいます。そう、最終的には自分たちで気づいてもらうことが「ねらい」です、どうす るのが良かったのか、これからはどうするのか。その一方で、終盤には職員の思いも伝えます「嘘と人のせい にするのが一番いけないんだよ」そして「お友だちがいけないことしていたら、やめるよう言ってあげるのが 本当のお友だちやで」。これは耳が痛い。[子どもは大人の鏡] 父母や職員の倫理観や道徳観は、この時期の子 どもの心に強く取り入れられていきます。つくづく"子どもの育ち"は"私たちの成長"と同時並行です。

園長 山﨑 深

### 2 0 2 4 年 度 キ リ ス ト 教 保 育

年主題 『さあ、漕ぎだそう 奏でよう』

月主題 乳児『きもちいいね・ぞんぶんに』・幼児『ここちよく』 <今月の願い>

乳児 ― 砂や泥、水の感触を味わったり、草花に触れたりしながら 楽しんで遊ぶ

やりたいことを存分に楽しみ、友だちの存在に気づき共感する

幼児 ― 五感を使う楽しさや面白さを経験し、新しいことにも挑戦する 花や野菜の世話、生き物の飼育をしながら、自然のいとなみの おもしろさや命の大切さを知る



7月の聖句

わたしたちはみな キリストイエスにあってひとつである

讃美歌♪ことりたちは♪

1.ことりたちは ちいさくても おまもりなさる かみさま

2.わたしたちは ちいさくても

おめぐみなさる かみさま

3. うたのこえは ちいさくても よろこびなさる かみさま





日	曜日	行 事
I~	月~	計測・絵本・雑費徴収
5	金	誕生日会
6	土	デイキャンプ※予備日   3
17	水	非常時訓練(地震)
23	火	体育指導(幼児)
10 • 21	水・日	園庭開放

### ◎7月6日(土)ゆり組(5歳児)デイキャンプ)

\*4歳児から0歳児の就労保育は、保育園で おこないます。デイキャンプのため、

給食をご用意できません。

#### ◎8/10・13 (土・火)

\*お盆期間中の食材発注が出来ないため(卸市 場休業のため)給食をご用意できません。

お手数をおかけしますが、お弁当をご用意 ください。



## 花の日



毎年、6月の花の日に日頃お世話になっている方々を訪問して、感謝を表し、ご高齢の方をお見舞いして、お花を届けています。日頃の感謝の気持ちを子どもたちと共にお伝えできるよう、「花の日」を行いました。この行事を通して、子どもたちが、心豊かに育ってくれることを願っています。







笑顔<mark>あふれる素敵なふれあいの</mark> 機会となりました





美しいお花をたくさん持って来ていただき ありがとうございました。

# クラス懇談会(乳児組)

お忙しい中、多数のご参加ありがとうございました。 ビデオや写真で子どもたちの日頃の生活や遊びの一端に触れて頂けたと思います。また、グループトーキングでは、保護者の皆様といろいろなお話ができ楽しいひと時となりました。 今後もご相談やご意見がありましたら、いつでも声をお掛け下さい。





※<mark>幼児ホームの懇談会は 7/23, 24, 25 を予定しています。</mark>

いろいろな行事の様子や日々の遊びの様子をホームページや、お便りにて掲載しています。 掲載が不可の場合は、<u>担任か主任まで</u>お知らせください。

### 7月の

## 新しいお友だち。

たんぽぽ組

さん





夏はプールや水遊び、虫取りなど、たのしいことがいっぱい!ですが、今年も酷暑になることが 予想されます。

暑い夏を元気に乗り越えられるよう、普段から「こまめな水分補給」「適度な休息」「手洗いうがい」を心掛ることが大切です。

体調不良の際は、「安静に」「しっかり睡眠をとる」 「栄養のある食事をとる」など体力を消耗しない ことが回復の近道です。

今年の夏も健康に過ごせるよう、ご家庭と保育園、 連携しながら、一緒に乗り越えましょう!

